※令和４年度以降入学生用

学校番号	1016

令和５年度　情報科

教科	専門情報	科目	(学)プレゼンテーション基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	プレゼンテーション作成検定試験 模擬問題集 1・2級編（日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- プレゼンテーションについて学び、実践する科目である。
- 実技が大半を占めるが、座学による効果的な実践方法についての学習等もある。
- 日々の作成する課題と、発表が主に評価するものになるため、欠席した場合は、各自で補習を予定する必要がある。
- 前に立って発表することは緊張することだと思うが、十分に準備をして行えば、緊張することは徐々になくなってくる。恥ずかしがらずに取り組むこと。

2　学習の到達目標

- 相手（見る側）にとって分かりやすい文書・書類・スライドの作成脳力を養成する。
- 情報の伝え方として、話し方、態度、発問や応答など、プレゼンテーションについて学んでいく。
- より実践的な発表ができるように技能習得を目指す。
- プレゼンテーションソフトの効果的に活用方法の理解のために、日本情報処理検定協会主催のプレゼンテーション作成検定試験についてテキストを活用して学習する。併せて検定試験の合格も目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なプレゼンテーションのための方法を理解し、実践するための技能を身につけている。 プレゼンテーションソフトやその他の資料作成のためのアプリケーションの活用方法を理解し、情報発信のための効果的な資料作りをするための技能を身に着けている。	プレゼンテーションソフトやその他の資料作成のためのアプリケーションにおいて、情報を効果的に伝えるための表現方法を理解したうえで、それらを活用し表現できている。 発表において相手に情報を効果的に伝える手法を用いた実践ができている。	資料作成の方法、見やすいデザインの分析を通してプレゼンテーションの良さを認識し、そのための方法を活用しようとする態度、課題の作成や発表準備、発表を通して、その過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	基本的なプレゼンテーションソフトの活用方法の学習	プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法の理解と活用をする。 問題に沿った課題の作成を行う。	a:プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法の理解と活用をしようとしている。 b:基本的な操作方法にそって適切に課題の作成をしようとしている。 c:学んだ内容を活用してより効率よく課題の作成に取り組もうとしている。	課題作成 確認テスト	課題作成 確認テスト	課題作成 振り返りシート
	プレゼンテーション実習	プレゼンテーションを企画し、発表を行う。	a:効果的な表現方法、資料の作成方法を理解しようとしている。 b:効果的な発表方法、プレゼンテーションとは何か考え、資料に表現しようとしている。 c:効果的な発表のための態度を研究し、発表をよりよくしようとしている。	実習作品 発表	実習作品 発表	発表作品 発表 振り返りシート
二学期	効果的な的なプレゼンテーションソフトの活用方法の学習	プレゼンテーションソフトの効果的な操作方法の理解と活用をする。 問題に沿った課題の作成を行う。	a:プレゼンテーションソフトの効果的な操作方法の理解と活用をしようとしている。 b:効果的な操作方法にそって適切に課題の作成をしようとしている。 c:学んだ内容を活用してより効率よく課題の作成に取り組もうとしている。	課題作成 確認テスト	課題作成 確認テスト	課題作成 振り返りシート
	プレゼンテーション実習	プレゼンテーションを企画し、発表を行う。	a:効果的な表現方法、資料の作成方法を理解しようとしている。 b:効果的な発表方法、プレゼンテーションとは何か考え、資料に表現しようとしている。 c:効果的な発表のための態度を研究し、発表をよりよくしようとしている。	実習作品 発表	実習作品 発表	発表作品 発表 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	実践的なプレゼンテーションソフトの活用方法の学習	プレゼンテーションソフトの実践的な操作方法の理解と活用をする。 問題に沿った課題の作成を行う。	a:プレゼンテーションソフトの実践的な操作方法の理解と活用をしようとしている。 b:実践的な操作方法にそって適切に課題の作成をしようとしている。 c:学んだ内容を活用してより効率よく課題の作成に取り組もうとしている。	課題作成 確認テスト	課題作成 確認テスト	課題作成 振り返りシート
	プレゼンテーション実習	プレゼンテーションを企画し、発表を行う。	a:効果的な表現方法、資料の作成方法を理解しようとしている。 b:効果的な発表方法、プレゼンテーションとは何か考え、資料に表現しようとしている。 c:効果的な発表のための態度を研究し、発表をよりよくしようとしている。	実習作品 発表	実習作品 発表	発表作品 発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度